

# GEIBUN GALLERY



## 地域連携プロジェクト 駅地下芸文ギャラリー

2008年中のピックアップ企画



駅地下芸文ギャラリー  
田中美夜

駅地下芸文ギャラリーは2007年4月にオープンしました。2年目に入った今年は昨年に引き続き学生が企画段階から関わっていく動きも入れながら、ワークショップ及びセミナーの開催と昨年度よりも多い来場者数を目標として事業を行ってきました。

学生の企画としては5月のゴールデンウィークに合わせた「Tommy Dining」が挙げられます。この企画は学生が主体となって運営組織をつくり、期間限定のショップをギャラリー内にオープンするというものでした。企画のみに関わる学生がいれば作品出品だけ行う学生もいて、多くの学生が興味のある得意分野で関わっていくことができました。また、地域を巻き込んだ企画として、市民と学生を対象とした座談会、そして小学生を対象としたワークショップを開催しました。両者ともに次回を望む参加者の要望もあり、継続した企画として今後も行なっていきたいと考えています。

### 「かきぞめてん」

2008年1月4日(金)～14日(月)

新年最初の企画展は、かきぞめを行いました。ただし、今回は字を「書いても」良いし絵を「描いても」良いとし、来場した方に、毎日こちら側から出題されるテーマに沿って描きぞめをしていただくという形式にしました。作品に触れることによって成立するというコンセプトをもった作品は芸文ギャラリーでも過去発表しましたが、実際に来場者が作品そのものを制作するのは、初めての試みでした。が、企画が始まってからは予想をはるかに超える数の方がかきぞめにチャレンジされました。

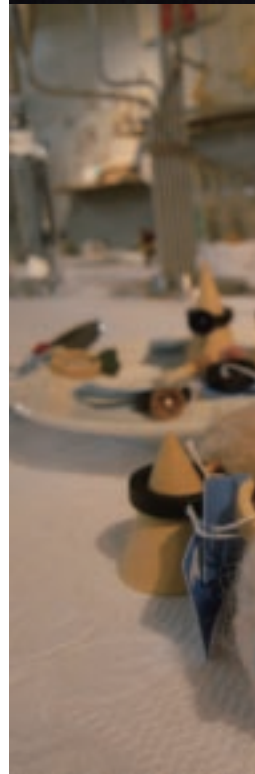
なお今回の企画中、10日間で、毎日その日ごとのMVPを選出し、企画最終日にはそのMVPの中からグランプリを選出させていただきました。

### 「あしもとの庭」

2008年2月16日(土)～2月17日(日)

高岡まちなかチューリップ展の一環として今年は芸文ギャラリーも参加。芸文ギャラリースタッフと富山大学高岡短期大学部、芸術文化学部が約1000本のチューリップを使ったインスタレーション作品を造り上げました。

見えるはずのものが見えない事。映るはずのモノが映らない事。1000本のチューリップによる「あしもとの庭」は、非常に多くの言葉を発しました。対照的な「物体同士」による水面鏡は、完全に摂理から反するものの、そこには感情的で、生命的なバランスが存在していました。





全ては仮想。

水の存在を砂などの別のもので表現する枯山水の要素を抜粋し、チューリップの存在で組み換え直す。地面から900ミリで上下対称に吊り下げられたチューリップはそこに、見えない水面の姿を浮き出させました。

全てが仮想。あしもの庭。

地上では表現できない庭園を考える。ある日のミーティングで、ここ地下でしか表現しえないテーマとして「空」が挙がりました。枯山水の要素でそれを表現する事は今回なかったのですが、全くそこに触れなかったわけではありませんでした。しいて言えばここ地下から空を遮る天井を、映り込んだその世界に映さなかった事。見せたいもの、見せないもののバランス。

見えないものは、時として見えるものよりも見るという意識を刺激します。あしもの庭は本当に魅せたいものを、ひっそりと隠してしまおうのです。

### 「雑貨屋Tommy Dining」

2008年4月25日(金)～5月6日(火)

富山大学高岡キャンパスの学生が、当ギャラリースペースを2週間「雑貨屋」に変えました。約20名の学生が展示・販売の為に900点以上のオリジナル作品を出品。アクセサリーやTシャツ、ポストカードやぬいぐるみ等をレストラン風に仕立てた空間で展開。今回の企画は冬の間から長い時間をかけ、学生たちが企画・運営してきたものです。

期間中の総来場者数はなんと750人。学生やご年配の方等、様々な方に足を運んでいただきました。

### 「しゃべっていいとも」

2008年7月1日(火) 18:30～19:30

高岡で活躍する様々な「二代目」と高岡に住むみなさんで行う座談会。

今、私たちが暮らす高岡という街をリードしている様々な「二代目」達。

街の元気が無くなっていく中で、私たちはこれからどのような未来を見据え、誰の話に耳を傾けるのかを考えたとき、この街の二代目という存在に行きつきました。家業の為に都会から戻ってきた人や、新しく企業を起こす人。家業を継げば二代目という発想ではなく、時代の継ぎ手としての二代目が本座談会のゲストテーマです。単に先代の伝統の技術や商いを継ぐというだけでは生き残っていくのが難しく、新しい何かをそこに折り込む事が課題とされた現代の継ぎ手。そこには様々な葛藤と独自の発想があるようです。

しゃべっていいとも！では毎回2名の高岡に住む二代目と1名のゲストコメンテーターでこれまで、そしてこれからの高岡を独自の視点でお話していただきました。

当日は定員40名のところ約70名の方々が来られ熱気が充満するギャラリー内は熱い話で盛り上がりしました。

### 第一回目ゲスト

#### 二代目

#### ■吉岡 幸治

(ウィン株式会社 代表取締役社長)

#### ■青井 一暁

(株式会社ナガエ アート事業部営業課企画担当)

#### ゲストコメンテーター

#### ■佐藤 雅敏

(もみの木ハウス 代表取締役)



## 「夏休みこども教室 ヤルキッズアート道場

### -みんなで、でっかい水族館の巻-

(ワークショップおよび展覧会)

2008年8月15日(金)ー8月24日(日) 11:00ー19:00

小学生を対象とした駅地下芸文ギャラリーとしては初めてのワークショップとして小学生が夏休みに入る7月下旬から開催。身近にあるものから発想しものづくりの楽しさを体験してもらおうということで企画しました。毎受講日、子どもたちが想像する自由な「うみのいきもの」を制作。完成した作品は全てギャラリーに展示し、8月に全ての作品を集めて水族館に見立てた展覧会を行いました。

ワークショップ期間中は、ペットボトルを素材に、今まで見たことのない海のいきものをつくるために集まってくれた47人のキッズ達と、私たち含めみんなで手探りの楽しい毎日。



そもそも最初は、こどもたちにモノ造りの楽しさを知ってほしいという意気込みから今回の企画が始まりましたが、子供たちと作っていくなかで感じた「はじめての体験」という大きな出来事的重要性。遠いむかし、初めて父親がコピー機を使って本物そっくりに絵本を別の紙に写したとき、油性ペンが水で落ちないことを知ったとき、二段ベッドにのぼったときのことなどを、いまでも私たちが鮮明に覚えているように、とにかくどんなことでも初めての体験という感動は何十年経っても鮮明に刻まれています。

「ペットボトルがドライヤーでクネクネまがった！」  
「マジックで塗った部分が鉛筆で削って細かい模様になった！」

「のこぎりやカッターナイフは、手前に引かないと切れない！」

「マジックには太い場所と細い場所があった！」

など、こどもの顔をみていると、私たちがみんないくつかの時に通過してきた驚きや発見を、今まさにこの場所で経験していました。そんな中、何か一つでもこの子たちの中に今回得たものが心に深く刻まれたなら、それもひとつの成果だと感じた企画でした。

### ワークショップ

期間中8日間の午前午後、計13回の中から希望日を選んでもらい実施

#### ● つくるもの（下記の両方）

- 1：ペットボトルを利用した見たことのない想像上の海のいきもの
- 2：円形の窓枠のついたボードにお友達や家族の絵を描く。

#### ● 対象 小学生

#### ● 講師 田中美夜・羽田純



駅地下芸文ギャラリー  
Open: 11:00 - 19:00 (木曜定休)

高岡ステーションビル地下街  
高岡市下関町 6-1 〒933-0021  
Tel. & Fax. 0766-25-6078  
E mail info@geibungallery.jp  
URL http://www.geibungallery.jp

企画展示の他に教員と地域企業とのコラボレーション作品等の展示販売も行っている。



授業成果展示「52の木のおもちゃ」展



現代 GP「出会い・試し・気づき・つなぐ芸術文化教育ーものに語らせる連鎖型創造授業ー」



高岡伝統産業青年会×富山大学芸術文化学部ものづくりコラボ展示「0 or ∞」

## 2008 年 企画展示一覧

- |               |  |
|---------------|--|
| 1.4 ~ 1.14    | ・かきぞめてん  |
| 1.18 ~ 1.29   | ・moorimio MM プラン 01                                    |
| 2.2 ~ 2.11    | ・芸文堂立ち読み書店   |
| 2.16 ~ 2.17   | ・あしもの庭   |
| 2.29 ~ 3.11   | ・ファンハウス展〜このままじゃ終われない〜                                  |
| 3.14 ~ 4.2    | ・52の木のおもちゃ   |
| 4.5 ~ 4.19    | ・ten-batsu-ten'08                                      |
| 4.25 ~ 5.6    | ・雑貨屋 Tommy Dining                                      |
| 5.10 ~ 5.20   | ・Gift11  |
| 5.23 ~ 6.3    | ・木と漆のうつわ〜小さなうつわたち〜                                     |
| 6.6 ~ 6.16    | ・L e t ' s ゴーゴー e c o                                  |
| 6.20 ~ 6.29   | ・もうそうのまなざし   |
| 7.1           | ・しゃべっていいとも！ー高岡二代目と来た人みんなで座談会                           |
| 7.4 ~ 7.14    | ・UNIA  |
| 7.18 ~ 7.29   | ・Eco-Friendly-Action 展                                 |
| 7.26 ~ 8.24   | ・夏休みこども教室'08・展覧会'08<br>ヤルキッズアート道場 〜みんな<br>で、でっかい水族館の巻〜 |
| 8.2 ~ 8.6     | ・ピアマグ展   |
| 8.26          | ・しゃべっていいとも！ー高岡二代目と来た人みんなで座談会2                          |
| 8.29 ~ 9.23   | ・現代 GP「出会い・試し・気づき・つなぐ芸術文化教育ーものに語らせる連鎖型創造授業ー」           |
| 9.26 ~ 10.7   | ・みてこり〜マップ イラスト<br>原画展                                  |
| 10.9 ~ 10.14  | ・タカタンゴ展  |
| 10.17         | ・しゃべっていいとも！ー高岡二代目と来た人みんなで座談会3                          |
| 10.21 ~ 11.4  | ・JAB 写真展〜記録と軌跡、そしてこれから〜                                |
| 11.1          | ・Joint Art Battle 2009                                 |
| 11.1          | ・秋の子供教室'08 ヤ<br>ルキッズアート道場 〜みんな<br>でいろんなアート体験だ！の巻〜      |
| 11.7 ~ 11.18  | ・図と地 (高瀬竜一・小杉かん子<br>二人展)                               |
| 11.21 ~ 11.25 | ・ハイライト！ - Joint Art Battle<br>2006-2008 歴代優秀作品展 -      |
| 11.29 ~ 12.8  | ・高岡伝統産業青年会×富山大学<br>芸術文化学部ものづくりコラボ<br>展示「0 or ∞」        |
| 12.13 ~ 12.23 | ・雑貨屋 Tommy Dining                                      |

